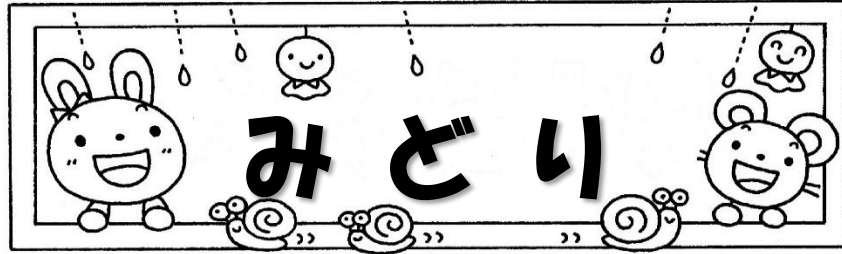


6月



令和8年5月29日
みどり幼稚園

保育目標 (6月)



- * 梅雨時の自然現象や生き物に興味や関心をもつ。
- * シャボン玉やえのぐ遊びを楽しむ。
- * 友達と一緒にからだを動かすことを楽しむ。
- * 視力検査を受けたことで、目の大切さを知る。
- * 運動会に元気に参加し、達成感を味わう。

気温の変化が激しく夏のような暑い日もあれば、肌寒い日もあり、服装の調節や体調管理に気をを使う日々です。

子どもたちは花の種を蒔いたり、苗を植えたり、植物の生長を楽しみにしています。

わくわく教室

5月はクルームパペルの久保田久美絵さん(クーさん)と木のからくり作家高橋みのるさんをお迎えし、わくわく教室(造形的な遊び)を3回に渡って行うことができました。

クーさんは昨年と同じように経木(木を薄く削ったもの)を使った活動をしてくださいました。子どもたちは木の香りを楽しみながら丸めたり、細かく裂いて結んだり、思い思いの作品を作りました。

また、高橋みのるさんとは全学年が○△□で遊びました。年少組は○△□に型取られた丸味のある木片をなでたり、眺めたりしながら木の感触を味わっていました。

どちらの活動も子どもたちは「木」について体感することができました。最近「木育」という言葉が普通に使われるようになりましたが、木に親しみながらそのぬくもりを感じ、自然を大事にしようとする心も育ってくるかもしれません。

6月は運動会です!

体のバランスをとる動き、移動する動き、用具などを使う動きなど、子どもたちの発達に応じてさまざまな動きができるような種目を考案中です。今年は玉入れの練習をして、投げる力がつくようがんばっています。

今年度も親子、父母、祖父母、小学生のレースがありますので、当日は運動のできる服装で運動会においでください。

“元気いっぱいなかよし運動会”となりますよう、ご家族の皆様のお力添えをよろしくお祈りします。

当日はどうかよいお天気に恵まれますように。

園長 正部家 朱美

寄付をいただきました。

みどり幼稚園理事 道尻誠助氏より5万円の寄付を頂戴致しました。子どもたちのための絵本の購入とサッカー教室の講師料にあてさせていただきます。ご厚意に心より感謝申し上げます。

こどもホコテン今年もあります!

市内の19の私立幼稚園が遊びのコーナーとステージ発表をします。みどり幼稚園は遊びのコーナーを担当します。



6月の行事

お弁当の日が変更になりました。6/3(水)→6/19(金)

月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6
衣替え		歯科検診 サッカー教室 (年中・年長組)	びよちゃんクラブ		預かり保育
8	9	10	11	12	13
	図書整理 (全学年) 尿検査 (2回目)				休園
15	16	17	18	19	20
				お弁当の日 運動会 リハーサル	運動会
22	23	24	25	26	27
運動会代休 (休園)	避難訓練	体操教室 (年中組) (年長組)	わくわく教室 ④	英語教室 (年中組) (年長組)	休園
29	30	※6月20日(土)運動会についての詳細は後日お知らせ致します。 ※6月28日(日)こどもホコテン11:30~15:30 ※視力検査・聴力検査があります。			

令和7年度 自己評価報告書

学校法人正栄学園 みどり幼稚園

《実施日》令和8年3月17日(火)・18日(水)

《参加者》正部家・御子柴・齋藤・柳沢・高橋・渡部・吹切

1. 本園の教育目標

- ・明るく元気な子
- ・友達と仲良く遊べる子
- ・思いやりのあるやさしい子
- ・最後までやりとげる子

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

○「生活する力」「関わる力」「学びに向かう力」の3つの柱のもとに子どもの姿を踏まえた保育者の関わり・環境構成を考え、実践する。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	子どもの発想を生かす造形遊び	B	△子どもが興味を示すものと保育者が意図的に準備したものが、必ずしも子どもが興味を示さずにいた。 ○朝の自由遊びを盛り上げるためには、保育者の事前準備が必要で、保育者自身も製作するために材料の素材を知ったり道具の扱い方を知ることができた。 ○クラス活動(お店屋さんごっこ、お祭りごっこなど)では、事前に子ども達との話し合いを設けてお互いに意見を出し合い、イメージを共有することができ、一緒に製作活動に取り組めた。
2	発達の特性に応じた運動遊び	C	○長縄遊びでは、年齢に合わせて回すスピードを工夫した。 ○鬼ごっこなどの集団遊びでは、ルールを踏まえながら年齢に応じルールを変えながら楽しめるようにしてきた。 △前半は、運動器具(巧技台・はしごなど)を出して遊んでいたが、後半は出して遊ぶことが少なくなった。 ○年長組は全員、短縄を跳べるようになった。
3	園内研修の充実	B	○それぞれの研修で学んだことを発表し合い共有できた。 △研修した内容を保育に意図的に取り組むことがあまりできなかった。

評価(A:十分に成果があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・造形遊びでは子ども達が何の素材を求めているのか扱いやすいもの、想像をかきたてるものはどんなものか、先を見通して準備をしていきたい。 ・一人ひとりの『作りたい気持ち』に寄り添うような環境構成や援助の仕方が難しかったため、子ども達の遊びの様子をじっくりと見つめ、どのような言葉かけや援助が必要なのか考えていきたい。 ・園内研修は、来年の東北大会に向けて、どのようなものを目指して進むか分かり始めてきた気がする。 ・年長組が短縄に取り組む様子を見て、他学年の子ども達が憧れの気持ちを持ち、興味をもって長縄や短縄に取り組めるようになった。 ・それぞれの研修で学んだことを共有することができ、充実していた。その学びを保育に生かすにつなげるようにしていきたい。

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	子どもの発想を生かした造形的な遊び	<ul style="list-style-type: none"> ◎日常の遊びを通して環境設定の見直しをする。 ◎日頃の保育者の関わりや言葉かけの大切さに気付き、子ども達からの発信をきちんと受け止め、丁寧な対応を心がける。 ◎生活の中での造形的な遊びに目を向け個々の発想を生かせるような援助をする。 ◎クラス的环境について朝の打ち合わせの時に発表し合う。 ◎自由遊びの子ども様子を記録に基づいて週案の時に発表し合う。(エピソードを一人から二人ずつ)
2	発達特性に応じた運動遊び	<ul style="list-style-type: none"> ◎運動指針を見直し、発達特性に応じた運動遊びを工夫する。 ◎発達に応じた運動遊びを指導計画に入れる。 ◎子ども達が運動遊びを楽しめるように環境を整える。 ◎腕と足の力をつけるために、雑巾がけを行う(ホールでも)
3	園内研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◎子ども達の造形的な遊びの様子など記録やエピソードを持ち寄り、週案の時に話し合うことで、保育を振りかえる習慣を身につける。 ◎リトミックや運動遊びを学び合う。 ◎保護者対応や支援が必要な子への対応の仕方について、研修会に参加したり話し合う機会をもつ。

令和8年4月8日(水) 学校関係者評価委員会にて

6. 学校関係者評価委員会の評価

- (1)発想を生かす活動で、クルームパペル久保田さんとの活動することにより、美術館での展示を家族で体験する機会を得ることができた。
- (2)先生方、職員の皆さんが笑顔でお声がけをしてくれる。子ども達を大事にしてくれていることが伝わる。先生が子ども達、それぞれのペースに合わせていて、一人ひとりを見て、全員が育つように接している。
- (3)保護者として一年過ごせて楽しかった。一年を通して、子どもが成長したと感じた。何かをつくることも楽しめるようになった。
- (4)発想力の豊かさなど、これまでの積み重ねできっとよい東北大会の公開保育ができると思う。
- (5)子どもの気持ちに寄り添い、子どもたちにやる気を起こさせている様子を何度も見ることができた。また、これからの時代に必要な教育はどんなものか幼稚園として発信していくことは必要であると考えます。
- (6)先生方の笑顔でいつでも誰でも受け入れている感じに好感がもてる。子どもたちと先生との信頼関係もある。その子に合わせて、せかさずに待っている姿は子どもにとっては信じてもらっている安心感をもてる。